

# 令和8年度 事業計画

## ■特別養護老人ホーム北原荘

### 【基本方針】

人口減少、高齢化率の上昇が進む喜多方市において、サービス需要の変化等を捉えながら、地域のセーフティネットとしての役割、および法人経営の中心的役割を果たしていけるよう、生産性向上（業務改善）の取り組みとサービス提供体制の維持を進めていきます。

また、職員の負担軽減とのバランスを図りながら、基本理念（個人の尊厳の保持、利用者本位のケア、地域福祉の向上）を堅持し、新たなニーズへの対応も検討しながら、テクノロジーでは代替できない福祉・介護の仕事の価値や魅力を共有・発信できるよう取り組んでいきます。

### 【重点目標】

- 生産性向上（業務改善）と持続可能な仕組みづくり
  - 前年度の実績向上の活動の振り返りと計画の練り直し（『生産性向上くん』の活用）
  - 生産性向上委員会を中心とした施設全体の取り組みと各部門の取り組みの連動
  - 法人委員会との連携、他施設との情報共有
  - 業務の棚卸しと現状業務の見える化、3M（ムリ・ムダ・ムラ）の抽出
  - わかりやすい手順書の作成
  - 身近な福祉用具を活用したノーリフティングケアの浸透促進
  - 5S（整理・整頓・清掃・清潔・しつけ）による働きやすい職場環境の整備
  - 介護記録ソフトの機能の活用推進、ペーパーレス化
  - 排泄予測機器からの取得データの活用
  - 情報共有ツールの活用
  - 見守り支援機器、移乗支援機器など新たな機器の導入
  - ケアプランデータ連携システムの導入
  - 緊急時マニュアルの見直しと実行
  - 普通救命講習会の開催、応急手当普及員講習の受講
  - 自然災害及び感染症BCPのブラッシュアップと研修、シミュレーション
  - 水防法及び土砂災害防止法に基づく避難確保計画の見直しと訓練の実施
  - 必要品（飲料・食品・医薬品・衛生用品・日用品等）の備蓄管理
  - 各種設備更新
  - 施設内集団感染ゼロによるベッド稼働率の安定化（目標：95%以上）
  - 光熱水費、食材費、オムツ代その他経費の適正管理
  - 生産性向上の取り組みに基づく人員の適正配置
  - 経営の中長期展望と計画策定
- 施設基本理念に根差した活動と介護・福祉の仕事の価値を高める取り組み
  - 排泄予測機器等の活用による適時の排泄ケアの実施
  - 認知症チームケアの充実、認知症ケアマニュアルの見直し
  - ACP（人生会議）の取り組みと看取り介護の充実
  - 口腔衛生管理体制の構築
  - LIFEのデータ活用
  - 利用者の顔の見えるケアプラン作成とサービス担当者会議への家族参画
  - 苦情を招かない配慮や工夫、要望をサービス改善につなげる活動
  - サービスの自己評価や利用者アンケートによる課題抽出
  - 感染症対策を講じたうえでの実習生やボランティアの受け入れ
  - 家族会との連携強化、共同作業等の実施
  - 担当ケアマネジャーや居室担当職員と家族とのつながりの強化
  - 虐待など地域の困難ケースへの相談対応
  - 理学療法士、管理栄養士などの専門職の地域派遣
  - 身寄りのない高齢者への支援、医療的ケア児のショートステイなど新たなニーズへの対応
  - 地域との共同による防災訓練の実施、子育てサポート
  - 広報紙の発行、ホームページの更新による施設や仕事の魅力発信
- 理念・価値観を共有し、ともに働く仲間を生かす職場づくり
  - 明るい挨拶と他職員への感謝、思いやりのある職場づくり
  - 部署長と所属職員など職員間コミュニケーションの活性化
  - 中途採用者や異動職員がキャリアを生かしながら安心して働ける支持的風土の形成
  - 不適切ケアの未然防止に向けた職員間での声の掛け合いや助け合いのできる環境づくり
  - ハラスメント（カスタマーハラスメントを含む）を生まない職場づくり、ストレスチェックの実施
  - 労災防止のための危険箇所の点検や、定期健康診断や腰痛検診の実施など、職員の安全と健康を守る取り組み
  - 職員のキャリア形成に関する意向の確認と次期リーダーの養成
  - 職場全体での新卒者の定着及び成長の支援
  - 特定技能介護職員1期生のステップアップ、2期生及び3期生の定着支援
  - 目標面接制度、プリセプター制度の充実
  - 施設内研修の内容の充実、欠席者へのフォローアップ
  - 外部研修の受講推進
  - 認知症介護実践者研修、認知症介護実践リーダー研修、認知症チームケア推進研修、認知症介護基礎研修の受講
  - 職員の資格取得の勧奨（介護支援専門員、管理栄養士、衛生管理者等）
  - 虐待防止に資する「職員セルフチェック」の実施
  - 職員の資質向上とサービスの質向上に資する委員会の開催

## ■北原荘居宅介護支援センター

### 【基本方針】

2040年問題を見据えた体制整備が進められ、地域包括ケアシステムの深化、在宅サービスの充実、介護人材の確保が求められるなか、地域に根ざした事業所を目指すための取り組みに注力するとともに、生産性向上と仕事の効率化、事業所内の体制整備と人材育成に重点的に取り組んでいきます。

また、自立支援に向けた利用者本位のケアプラン作成のため、ケアマネジメントの質の向上に努めます。関係機関との密接な連携、総合的かつ効果的なサービス提供、緊急時に備えた体制強化を図り、安心して自宅で生活が出来るよう取り組んでいきます。

### 【重点目標】

- 地域との関係性の構築による、相談しやすい「顔の見える」事業所づくり
  - 地域活動への参加などによる「顔の見える」関係づくり
  - 広報紙の地域への配布
  - 地域共同防災訓練の企画・参加
  - 地域づくりをテーマにした会議や研修の受講
  - 地域ケア会議等での地域課題の抽出や地域の資源開発の提案
  - 熱塩加納地区懇話会への出席と情報交換
  - 地域包括支援センター、社協地区担当者との情報交換
- 生産性向上と仕事の効率化、人材育成と体制整備
  - ケアプランデータ連携システムの導入
  - 記録ソフトのマスター作成
  - タブレット端末の導入
  - 介護認定調査や事務作業を担当するパート職員の配置
  - 伝達研修の実施による研修受講の効率化
  - 複数担当制による業務量の均等化（広報紙作成等）
  - ICT活用による効率の良い情報収集、空き時間の有効活用による事務処理の削減
  - リーダー育成と次年度へ向けた体制整備
  - 職員が一人で抱え込まない職場環境づくり（困難事例やカスタマーハラスメントへの対応等）
  - 多様なニーズを抱える利用者、家族への相談支援に資する研修の受講による職員の資質向上（ヤングケアラー、障がい者、生活困窮者、難病患者など）
- 質の高いケアマネジメントの提供
  - 自立支援を意識したケアプランの作成
  - 「適切なケアマネジメント手法」の活用
  - ケアプラン点検項目等に基づくアセスメント表の見直し
  - 入院時の円滑な情報提供、及び退院時の的確な情報収集による円滑な在宅生活支援
  - 主治医、医療機関との連携強化による、ターミナルケアなど医療依存度の高い利用者への対応の充実
  - 認知症のある利用者の意思決定支援の取り組み
  - 24時間連絡体制による、緊急依頼・相談への対応の迅速化
  - 定期的な事例検討会の開催やスーパービジョンによるケアマネジメントの質の担保
  - 特定事業所加算算定事業所との共同事例検討会による多角的な学び
  - 基礎資格（社会福祉士、介護福祉士、准看護師等）やキャリアを生かした専門性の発揮
  - 目標件数：2,520件/年
- 感染症や災害への対応力向上
  - BCPの共有と定期的なシミュレーション
  - ハザードマップの確認、個別避難計画の検討
  - 担当地域や利用者・家族の被災状況の把握と共有
  - 訪問時の感染対策の徹底、及び流行期における訪問時間短縮等の予防策の実施
  - 職員感染時における支援への影響の最小化（他職員による支援の継続）

**NEW ユニフォーム!**

**ユニフォームが新しくなりました!**

本年4月より天心会のユニフォームが新しくなりました。写真の「ターコイズブルー」「フューシャピンク」に加え、「イエローグリーン」の3色展開となります。

新入職員から着用を開始していますが、目を引く色で、存在が際立って見えます。そして、うれしいことに、サイドの切り替えが体型をほっそり見せてくれる期待大！

新ユニフォームの輝きに負けない笑顔で、本年度も職員一同、がんばります！

